

今後の市政運営に向けて



戸田 馨

問 中原市政2期目の4年間への評価と、今後の市政運営に向けて伺う。

答 現在市で取り組んでいる施策は、いずれも継続した取り組みが必須。次期市長選挙に立候補し、市の最上位計画である「第6次総合振興計画」の実現、「市民の幸福実感の向上」に向けて、全力で取り組んでゆく。

◆市民の政治参加を増やすために

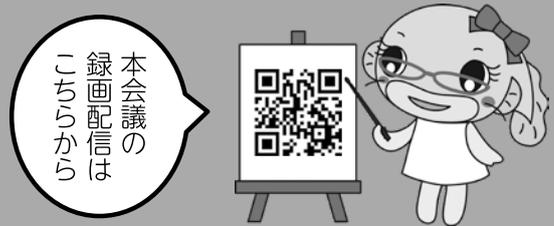
問 新型コロナウイルス感染症の影響下で「投票」の権利をどう考えるか。

答 国は、自宅療養者等に対しては「特例郵便等投票」を可能とし、濃厚接触者については「投票のために外出することは不要不急の外出には当たらず投票所等での投票が可能」との見解を示した。そのため市選管では、投票券への同封による周知、またホームページ等で市民に案内をした。誰もが安心して投票できる環境づくりに努めることが市民の政治参加を促し、コロナ禍での投票の権利の保障につながると認識している。今後もわかりやすい広報の充実を図りながら、選挙事務に努める。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、9月21日(水)、22日(木)、26日(月)の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。



新型コロナ感染症対策等
及び社会経済対策について



小野 潔

問 ①3回目、4回目のワクチン接種状況は。②5歳から11歳の個別接種状況は。努力義務化への対応は。③オミクロン株対応ワクチン接種の準備状況と接種券の発送は。④在宅療養者支援の現状。⑤現在推進の「事業者連携発展支援補助金」の状況と来年度以降も事業化しては。⑥「プレミアム付商品券発行事業」の進捗状況は。

答 ①3回目は79.2%、4回目の60歳以上は現在59%が接種。②31.2%が現在接種、正しい情報提供に努める。③9月28日から開始。おあしす、中央公民館の集団接種を中心に一部市内医療機関で、最後の接種から5カ月が経過した12歳以上が対象で接種券のない方へ順次発送する。④パルスオキシメーター延べ6,392個、食料支援807箱、今後も継続する。⑤5本、396万円交付、事業継続化は検証にて。⑥参加店241店、券申込みは紙、電子併せて24,000冊、10月1日より開始。

◆障がい者雇用について

問 民間企業経験者・障がい者枠の募集条件、「継続した3年以上の職務経験」は障がい者にはハードルが高すぎる。見直しをしては。

答 社会情勢を鑑み調査研究する。

公園等の維持管理に
協定見直しの検討は



降旗 聡

問 公園や緑道など、管理協定団体の活動実績と課題について。

答 令和3年度は44団体と管理協定を締結。公園や緑道など81カ所について除草や清掃など維持管理をしてもらっている。一部の団体では高齢化などにより、除草などの作業の継続が難しくなりつつあるとの懸念の声が寄せられている。

問 今後の協定内容の見直しについて。

答 団体ごとの事情に応じた作業内容を実施していただけるよう、他自治体の事例なども参考にしながら、協定内容の見直しを検討する。

問 地先の未舗装地などでの「花いっぱい運動」の取り組みについて。

答 道路の敷地内などにおける、緑化の取り組みについては、歩道内の植栽帯など、通行に支障のない範囲に限り、花の植栽などの緑化活動を行っていただくことは、景観の向上などに有効なものと考えている。

市としては、他自治体における先進的な事例などについて、研究していく。